

## 2019年度 第2回 運営推進会議 議事録

- 1 日時 令和1年7月29日(月) 15:00~16:10
- 2 場所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)
  - 利用者: ○野○文 ○下○
  - 利用者家族等: ○安多○子 ○野○子 ○下○幸(成年後見人)
  - 地域代表: 松○○一(民生委員)
  - 地域包括支援センター: ○津○子
  - 市職員: ○本(高齢者・地域福祉課)
  - 知見者: ○谷○司(介護老人福祉施設施設長)
  - 事業所: 大山守(施設長) 宮武昭彦(統括マネジャー)  
十倉恵美子(生活相談員) 三島裕子(3階介護主任)
  - 欠席者: ○野○(市職員) ○田(自治会長)  
川上里依(介護支援専門員)
- 4 会次第内容
  - (1) 開会の挨拶及び出席確認(宮武統括マネジャー)

「はぎの郷」第2回運営推進会議の挨拶の後、出席者より自己紹介いただき会次第に入る。
  - (2) 施設長挨拶

皆様ご多用のところお集まりいただきありがとうございます。「はぎの郷」も2年目を迎えました。今後、より一層情報発信・地域交流に力を入れて参ります。  
皆様の忌憚のないご意見ご要望をお聞かせください。
  - (3) 「はぎの郷」の現状報告(統括マネジャー)

現状報告(令和元年7月28日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。  
また、事業所で行っている会議・研修・委員会等(予定を含む)・季節行事・ボランティアの受け入れ・リスクマネジメントについて報告する。(添付資料参照)
  - (4) 質疑応答・意見交換
    - ① トロミをつけてもらっていますが、ちょっと固いように思います。また、目やにが多く目が開きづらいようです。市販の目薬買ってきていいのか、こちらで目薬出してもらえないのかと気になっています。(利用者家族)  
⇒ 看護職員に報告相談し、市販の目薬でいいのか、また眼科受診されたほうがいいのかお伝えします。
    - ② いつもお世話になっております。ここに入って元気になりました。(利用者家族)

③2階と3階と別フロアでみていただいております。入所当初と比べると一つ一つの課題に取り組まれているのがわかります。ありがとうございます。

嗜好調査の数字を見せていただいて、相対評価なので一概には言えませんが、1階、2階、3階の方々の意見がまちまちというか、食事形態など共通部分とフロアで個別対応されている部分の違いがあると思いますが、それについてはいかがですか？

(成年後見人)

⇒食事はナリコマフーズに外注し、管理栄養士の指示のもと食事を提供しております。味については、美味しくないというご意見は無く、ナリコマフーズを信頼しております。堅さというのは、デリケートな部分で、堅さによって美味しいものも美味しくなくなってしまうところが難しいところです。

施設は味の傾向が似てきます。家の食事ばかりだと外食したくなります。1年目は難しいと思いますが、2年目に入って行事も取り組んでおられるのがわかります。私もお連れしたらいいのですが、外へ出て行くという形の行事参加も考えていただいたらいいのではないかと提案させていただきます。今週末には盆踊りなどもあります。全員は無理でも行ける方をお連れするとか、ご家族の付き添いをお願いするなど考えていただけたらと思います。

(成年後見人)

⇒是非実行していきたいと思います。

④こちらの運営推進会議に初めて来させていただきます。最初は、施設改築中の中間検査に来させていただきます。後ほど見学させていただきたいと思います。

避難訓練に関してですが、2か月に1度という頻度で行われている施設はなかなかありません。また、夜間を想定した訓練もされていて、避難訓練に対する意識が高いと思います。夜間を想定した訓練で実際に動ける職員さんは何名くらいおられますか？

(市職員)

⇒6名くらいが徒歩圏内におり、車で10分くらいの圏内に4~5名おり、その中に主任・専門職も含まれています。

地震などだけでなく緊急時にも駆けつけることができるということですね。

また、ヒヤリハットや事故などの報告の後には、どのような対応策や改善策をとったか等も報告されると家族様も安心して聞けるのではないかと思います。

もう一点、入居者さんの暴力行為とはどのようなものですか？ (市職員)

⇒認知症の方が、ご家族が来られなかったり、行きたい時に散歩に行けなかったり、空腹を感じておられたりなどの状況があって、表情が険しくなれることがあります。職員も表情を観察し、動きを見守っておりますが、瞬時に手が出たりする時など防ぎようが無いこともあります。

⇒手が出る回数が増えた時、他の入居者様と距離を開けるとヒヤリハット・事故は

減りますが、本来の生活から離してしまうことになります。ヒヤリハット・事故があがっても、普段通りの生活を送っていただき、私たち職員は、その方の昔を辿って心が落ち着く何かを考えていきたいと思えます。「はぎの郷」では、生活の中に音楽を取り入れており、入居者様から喜んでいただいております。

⑤爪が剥がれるとありますが、どんな時に剥がれるんですか？爪が剥がれても痛くないんですか？  
(地域包括支援センター職員)

⇒尖足の方が、夏になって靴下を着用なくなり、裸足の状態で車いすのフットレストから指先が出ていて、移乗の際何かに当たったのではないかと考えておりますが、入浴時に発見され原因については不明です。本人様から痛みの訴えも無かったようです。爪は全部が剥がれたのではなく、半分程度浮いた状態で出血が見られました。

⇒自然にそのようなことは起こらないので原因を解明致します。

この事故についてユニットでは、どのような改善策を考えられましたか？

(成年後見人)

⇒「要因として、移乗時何かに当たり爪が剥がれたと思われる。改善策として、尖足気味になっておられるため、物に当たりやすいので、移乗時・介助時は足元を意識して行う。」と記録しております。

多分再発しますよ。介護職員のどの方が行っても事故が起こらないようにするのが改善策であり、再発防止です。気を付けるというのは再発防止にはなりません。

「バカ除け」という設計思想があります。誰が扱っても、バカ者が考えなしに扱っても深刻な状況に陥らない構造にするという考え方のことです。足が当たる所に何か置いておくなど物理的な対策を講じることです。

気になったことは、どのように再発防止の指導をするかということです。ユニットでの話し合いの場では出ない部分をリーダーさんや施設長さんに理解していただいて、物理的に起こらない、もう一步踏み込んだ完全な再発防止に徹底的に取り組んでいただきたいと思います。  
(成年後見人)

⑥自治会長から返答はありましたか？  
(民生委員)

⇒先日は自治会長様にお引き合わせいただきありがとうございます。お返事はまだいただいておりますが、見学のご案内やボランティアの募集など地域の方々への掲示物を用意いたしております。

自治会会員になるという申し入れは、役員になったり、コミュニティの管理などあ

って難しいと思われます。だからと言って、交流を無くすのではなく、どういう形で関わっていくかということです。

資料から、つつじ野保育園との今後の関わりは注目するところです。

8月17日には平岡北小学校でお祭りがあり、自治会が模擬店を出します。そこではぎの郷の職員さんにお手伝いに来てもらってというように、会員になってというより、そういう機会を通じてやっていくことが大事だと思います。

- ⑦事故にしろ、ヒヤリにしろどこも同じようなことが起きていると思いました。次に向けての予防策を徹底的に考えてやってるんですけど、次の事故に繋がらないように意識するのが一番だと思います。

こういう対策をしたから次は起こらない、ここまでやったから大丈夫というのではないという意識を持つことが大切です。 (知見者)

- ⑧前の施設で居た時と今は主人の様子が全然違います。状況写真も撮っているんです。パーキンソンなので諦めていたのですが、感じが変わりました。

ボランティアのことなのですが、こちらに入った時に友人がボランティアに来ていました。今は途絶えているようですが、ボランティアは来られているのですか？

(利用者家族)

⇒ボランティアについては、社会福祉協議会の登録団体から来ていただいております。募集もしております。施設の体制が変わった時に途絶えたと思われるので、またご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

- ⑨現状報告の入退居者数に退居者1名病院にて老衰とありますが、看取りケアについてのはぎの郷のスタンス、また今後どうしていこうと考えておられますか？

(成年後見人)

⇒看取りについては、入居の際に行っていることを説明しております。昨年度も数名の方に対して行われました。看取りケア開始に際しては、医師の指示、家族様の同意のもと全ての専門職がチームを組んで看取りの体制に入ります。

看取りを終えた後は、カンファレンスを行います。初めて、看取りを体験した職員もあり、課題に気付きます。答えを出すのは難しいことも多いのですが、経験から多くを学びより良いケアを目指してまいります。

利用者にとって終の棲家としてはぎの郷が、看取りをしてくれるということで最期をここで迎えられる。あっちこっちに行かなくていい、病院に行かなくていいのです。職員は、人の死に対して近いところで考え取り組み、どうしようもない状況に対して自分が行動することで強くなっていくと思います。

看取りケアを継続していただきたいと思います。

- ⑩ロングやショートでなく特養に入っても病院の受診は家族が行かないといけないんですか？息子は普段の日は仕事で、私一人で連れて行くのは大変です。

(利用者家族)

⇒基本的には、提携病院であるたずみ病院の受診については送迎させていただくのですが、たずみ病院以外の病院についてはご家族にお願いしております。人員・車の台数などから全ての病院の送迎・付き添いは緊急時に車が出せないなど他の利用者様に不利益が生じてしまう恐れがあるため行うことはできません。ですが、ご家族がお一人では大変な場合など、施設として考慮させていただいております。

たずみ病院はどこまで診断書書いてくれるのですか？期限があるので早目にとまって頼んだら2週間待たされて書けないと言われたのです。

⇒どのような場面・状況で書けないと言われたのですか？介護保険の関係と思いますが、来年のこともあるので、水曜日に確認します。

(5) 最後に

貴重なご意見等賜り有難うございました。

いただいたご意見等を活かし、地域に愛され地域とともに入居者の望むサービスの提供に取り組んで参ります。今後ともよろしく願いいたします。

以上

次回は9月30日開催予定